1. Slackと体温検知アプリの連携手順

SlackでのIncoming Webhookの設定を行います

Incoming Webhookは、外部ソースからの情報を簡単にワークスペースと共有する方法です。Slackの任意のチャンネルにデータを送信します。



2. Slackのチャンネルを紐付け

Incoming Webhookの設定からSlackに通知したいチャンネルを選択します。

あらかじめ、通知したいチャンネルを作成しておくと便利です。選択時に、新しいチャンネルをその場で作成することもできます。



チャンネルを選択後、インテグレーションの 追加を押すことで、チャンネルへの紐付けが 完成します。

3. Webhook URLを体温検知アプリに入力

Webhook URLが自動で生成されるので、そのURLをコピーして、体温検知アプリの設定画面から外部連携に入力することで、チャンネルへの通知設定は終了です。

💤 slack	App ディレクトリ	Q App ディレクトリを検索	検索 管理 ビルド	samoAl 💌		
	インテグレーションの設定	È			18	:15 E < < ▲ 🛛 🗟 ♥ 🗎
	チャンネルへの投稿					- 設定
	Incoming Webhookに送信されるメッ	# 体温検知管理	•			, march
	セージはこちらに投稿されます。					調整
			または新しいチャンネルを作成する			発熱マラート温度
						37.5°C
	Webhook URL					温度補正 +1.0℃
	この URL に JSON ペイロードを送信し マイゼキリ	https://hooks.slack.com/services/T015WM	ILHT2S/B01626YGFV3/UhR7naFRRL			
	セットアップの手順を表示		URLをコピーする • 再生成する			外部連携
	説明ラベル このラベルを使うと、インテグレーシ ョンリストにさらにコンテキストを追 加できます (オプション)。	このインテグレーションのオプション説明				Slack Webhook URL https://books.slack.com/services/T015WMLHT2S /801626YGFV3/UhR7naFRRLgl45NThAqQRZ7u IFTTT Webhook URL 設定されていません 発熱アラート時のみ連携
	名前をカスタマイズ このインテグレーションが投稿する際 のユーザー名を選択してください。	Thermo AI Voice Guide				
	アイコンをカスタマイズする					
	このインテグレーションからのメッセ ージに使用されているアイコンを変更 します。	画像をアップロードする または	絵文字を選択する			4 0 0

4. 判別結果がSlackに通知

通知は、体温検知の判別が終わると、自動でリアルタイムにSlackの選択したチャンネルに通知されます。通知は発熱がある場合のみの切り替え も可能です。

